

ハクチョウ関係文献リスト

雁鴨科鳥類文献集より(白鳥に就いて)

- 黒田 保吉. 1919. 京城附近に於ける主な鳥類の渡りに就いて, 鳥, 2-8, 151-152. (白鳥類について2月中旬頃龍山鉄橋下浅瀬不凍池に見る。盛期は3月下旬, 4月頃で数百に達することあり, 捕獲容易)。
- 靱山徳太郎. 1919. 北海道産ハクチョウの二標本. 付雁鴨類の嘴斑に就て, 動雑, 31, 290-291.
- 上泰 治. 1919. 大分県八坂地方の鳥類, 鳥, 2-8, 214. (オオハクチョウ八坂村北端樽種司地に145羽目撃20.4.1919(3羽採集せられる), 下流で2羽1月26日飛ぶ)。
- 靱山徳太郎. 1920. 北海道に繁殖する鳥類, 動雑, 32, 354-256. (八田・村田, 北海道産鳥類目録, 明治38年(1905)中・村田氏の繁殖記録あるもの, マガン(稀), オオハクチョウ(稀))。
- 内田清三郎. 1922. 「鳥学講話」P170, 小湊の白鳥, 科学世界。
- 熊谷 三郎. 1923. 宮城県下鳥類の渡り, ハクチョウ, マガン, サカツラガン, 鳥, 3-15, 318-319, (渡来地伊豆沼大正10年2.20~3.10.20羽の群を見当地に於て幼鳥を捕う, 大正10年4.10.530のサカツラガン1羽現る)。
- 黒田 長礼. 1925. 日本の天然記念物としての鳥類, 青森県小湊の鵠群—オオハクチョウ, 鳥, 4-19(270) 277-279.
- 中村 正雄. 1925. 新潟県天産誌, 357. (鵠雁鴨類19種内, オオハクチョウ, ヒシクイあり)。
- 内田清之助. 1925. 「四季様々鳥の研究」, 文化生活研究集, (23) 292-298(2種の鵠, 鵠の渡来地, 天然記念物(小湊))。
- 蜂須賀 正. 1926. 欧羅巴に於ける鵠の話, 鳥, 5-22, (14-17) 133-143. (コブハクチョウに就いてスエーデン, 英国の部)。
- 黒田 長礼. 1926. ウォシントン州に於けるトランペッターズワンの記録〔J.M. Eason氏論文, 1926.抄録〕 動雑, 38, 42~243.
- 和田 千蔵. 1926. 陸奥の渡り鳥, 青森県叢書, 4・上下, 上10-13, 下61-65. (鴨類20, 雁類7, 鵠類3, オオハクチョウ渡り習性, 渡りの時期表)。
- 靱山徳太郎. 1927. (標本供覧), 鳥, 5-24, 393. (ハクチョウ幼鳥, 北硫黄島産1個)。
- 鈴木 1927. 「北海道之帰雁獵」, (グラビア4, 本文46頁, 非売品, 鵠雁の分布, 帰雁の時期, 雁獵の折の携帯品, 其の他著者30年帰雁獵の実験記あり)。
- 堀 辰己. 1928. 樺太に於ける白鳥の去来, 研究実表第2輯. (理科7-14頁, 渡りの経路, オオハクチョウ来知志湖畔少繁殖)。
- 川口孫治郎. 1928. 川口氏よりの鳥信, 鳥, 5-25, 518. (薩摩荒崎にオオハクチョウ千羽)。
- 川口孫治郎. 1928. 九州に現われた珍禽の生態一斑, 動雑, 40, 479. (オオハクチョウの九州に於ける採集3例, 観察3例を掲ぐ)。
- 仁部富之助. 1928. 昭和5年度玉川に出現せる鵠に就いて, 鳥獣彙報, 1-2, (2F) 49-71. (秋田県仙北郡花館村附近出現, 鵠採集地(狩猟統計による)秋田県下北現地方名, 渡りの月日記録, 食性, 活動(夜間, 採食も夜間)等)。
- 下村 兼二. 1928. 九州産鳥類の生態写真供覧, 動雑, 40, 522. (鹿児島荒崎のオオハクチョウの写真)。
- . 1929. 白鳥, アミーバ, 1-1, 57. (小井川潤次郎, 八戸付近馬潤川. 1929. 2. 27)。
- 山階 芳麿. 1929. 再び千島列島産鳥類に就いて, 鳥, 6-28, 146-148. (ハクチョウ(千島一地名不詳), オオハクチョウ(得撫))。
- 高橋 定衛. 1930. 台湾島の白鳥, 動雑, 42, (1F) 274. (新分州桃園郡大園附近(北緯25°1', 東緯121°3')にて, 1929. 12月12羽目撃, 12月6日に5羽残存の内3羽捕獲す, ♂ 6.5 K, ♀ J 5.5 程にて種類はOlor bewicki jankowskiとして報告)。

ウもあり、移行動作其の他の習性あり)。

- 山階 芳磨. 1934. 樺太に於て繁殖する鳥類の惠集物に就いて, 鳥, 8-39, 319. (オオハクチョウ(卵2個, 鶴城郡鶴城村字パッコ沼チャチャ沼, 4, vi, 1932採測, 117×75mm (326.8♂), 112×72mm (326.3♀),
- 熊谷 三郎. 1935. オオハクチョウ?の渡来, 鳥獣報告集, 8-15, 16, 24. (宮城県伊豆沼に2羽渡来す, 11. 29. 1935).
- 黒田 長礼. 1935. 欧米に於ける博物館と動物園(五), 鳥, 8-40, 462-499.
- 黒田 長礼. 1935. 欧米に於ける博物館と動物園(六), 鳥, 9-41, 21-58.
- 三和 武磨. 1935. 雁行に就いて, 野鳥, 2-6. (青森県十三湖に10月頃より11・12月の結氷期迄の間に鵞雁鴨類が月夜に騒音をなして渡る, 1群は少なきは15~30羽, 多くは40~50羽).
- 富田 鏡一. 1935. ハクチョウの渡来, 鳥獣報告集, 8-15・16, 11. (島根県能義郡山部池幼鳥2羽2週間あまり滞留せり, mid X 1931).
- 橋本多三郎. 1936. 鵞来る, 鳥獣報告集, 9-17・18, 48. (琵琶湖中沖の島愛育尻方面に約10羽渡来, 湖上に棲息せり, 1933. 1月末~2月9日(?)).
- 川口孫治郎. 1936. オオハクチョウの去来, 鳥獣報告集, 9-17・18. (陸奥中津軽郡岩木川筋に11月~2月頃迄来去するものあり, 先年捕獲の標本現存す).
- 中村 幸雄. 1936. ハクチョウの渡来, 鳥獣報告集, 9-17・18. (富士山麓西湖に新記録として3羽渡来あり, 1931. 12月).
- . 1936. 駿遠地方の秋に於ける鳥の去来, 静岡県猟友会録, 12, 12-13. (オオハクチョウの名前もあり).
- 塚本 閔治. 1936. 青森県小湊の白鳥, 野鳥, 3-12, 907-8.
- 和田 千蔵. 1936. 小湊近のオオハクチョウ渡来の時期, 大湊港のオオハクチョウの渡りの時期, 鳥獣報告集, 9-17・18, 78.
- 猪川 誠. 1937. 小湊のオオハクチョウ, 野鳥, 4-9, (2月) 745-751. (白鳥の楽園, 種類, 分布, 渡り, 生活状況, 保護の現状, 大鵞の生態, その他).
- 黒田 長礼. 1937. 岐阜県下池の雁鴨類渡来地, 鳥, 9-44, (P113-114) 324-332. (オオハクチョウ? (ハクチョウかって14羽来る, この内4羽捕獲す).
- 清棲 幸保. 1937. 武蔵野の鳥, 科学知識, 17-4, 449. (古くはハクチョウ, ハクガンの記載あり<羽田鴨場の調査ではオオハクチョウ(1回見)黒田長礼氏>).
- 岡島 銀治. 1937. 鹿児島県出水郡水の沢荒崎にオオハクチョウ(佐藤幸夫氏報), 鳥獣報告集, 10-19・20, 31.
- . 1937. 天然記念物小湊のオオハクチョウ, 日本の鳥類. 大日本図書.
- 高島 精一. 1938. ハクチョウ3羽, 高知市浦戸港に, 野鳥, 5-1, 21-22. (1932. 12月末日, 3羽, コクガン2羽(1925. 1月)).
- 和田 千蔵. 1938. ハクチョウの渡来と現状, 鳥獣報告集, 11-21・22, 大湊港に1934. 10. 31. 3羽来, 11月上旬40羽位なりしも飛行中の為渡去, 小湊には少し遅れて11月5日は5羽初めて, 11月17日に約200羽となり, 同25日に280羽, 12月26日には400羽以上となった, 大湊は小湊へ渡る通路なり).
- . 1939. 白鳥の渡来地佐潟を天然記念物に国産飼取, 46, 19. (新潟県).
- 井上 元則. 1939. 北海道の鳥, 野鳥, 6-1, 72-73, 67・69. (冬鳥としてハクチョウの名前あり).
- 小林 桂助. 1939. 南千島の鳥, 野鳥, 6-1, 87. オオハクチョウ(色丹島, 11月~2月末に5~20羽見らる, 2点所有).
- 小柳 和助. 1939. 子供の新聞切抜帳, 野鳥, 6-3, 313・316. (茨城県多賀郡松岡町にて白鳥1羽を捕獲, 脚の布片に北支那の或部隊の勇士名あり, 此白鳥は支那より渡来せしを知る, (1939. 1. 23), 青森県小湊の外に最近白鳥の渡来地として新潟県下に1月10日頃次第に増加し数百羽に及ぶ, 天然記念物にすることを報告す).

- 内田清之助. 1930. 野鳥類, 応用動物図鑑, (148-158) 219-233. 北隆館, (鵠(種類及習性, 用途, 鵠の保護), 青森県小湊鵠渡来地, 釧路付近鵠の獵獲).
- 堀 辰己. 1931. 樺太に於ける白鳥の話, 鳥, 7-32, 196. (標題のみ〔講話〕).
- 北村 栄次. 1928. 小湊の鵠に関する調査事項, 鳥, 5-25, 495-496. (形態及生態, 習性上の観察, 伝説, 保護の施設, 成績).
- 仁部富之助. 1931. ハクテフの越冬, 同出現, 同日撃, 鳥獣報告集, 7-12, 310, 321. (仙北郡花館村玉川流域ハクテフ〔=オオハクチョウ?〕大正14年(1915)より捕獲禁止ありて13年後冬1929より多くなり, 一部は中旬, 1929年4月まで留まれり, 1929年度12月下旬2羽, 1-17. 5羽, 1931. 1-31. 15羽).
- 齊藤源三郎. 1931. 千葉県共同狩猟地の概況(二), 鳥, 7-31, 87-91. (ハクテフ(少), コクガン(少), ジジュウカラ(稀)).
- 和田 千蔵. 1931. オオハクチョウの渡来, 鳥獣報告集, 7-12, 363. (小湊浅所の海上に例年より多く20羽位居り, 1931. 2月中旬より群団乱れ各所に飛散, 1931. 3月上旬には20に減り, 17日には5羽になり, 20日には1羽もいなくなった, 3月頃滅じる).
- 堀 辰己. 1932. 樺太と白鳥, 鳥, 7-33. 34, (30)270-277. (Cygnus davidi について, 樺太に於ける白鳥の産卵, 食性, 大白鳥の卵の測定及重量, 大白鳥11点の個々の測定値あり, 千島と北海道で赤脚の白鳥獲られたりと聞く(白雁の誤り?)).
- 鷹司 信輔. 1932. 佐渡の鳥, 鳥, 7-33. 34, 212. (オオハクチョウ1931. 2月加茂湖2羽採集).
- 藤田仁十郎. 1933. ハクチョウの渡来, 鳥獣報告集, 7-14, 534. (小湊浅所にてハクチョウ40-50羽, 1931. 11. 15日).
- 黒田 長礼. 1933. 欧米に於ける博物館と動物園(一), 鳥, 8-36, 36-63. (鵠雁鴨類の記事中心).
- 仁部富之助. 1933. ハクチョウに就て, 鳥獣報告集, 7-14, 511. (秋田県仙北郡大曲町付近にてハクチョウ(オオに非ず)1羽捕獲, 1931. 10. 21~22? 当地にては10月中旬, ハクチョウ渡来は2回目).
- 小樽新聞. 1934. 小樽新聞1934. 3. 14付, 七萬里の白鳥記念物指定申請, (根室国野付半島七萬里平糸村に群棲す).
- 勝田 蕉琴. 1934. 樺太より, 野鳥, 1-5, 345. (樺太内のハクチョウ(オオハクチョウ?)の分布を記す).
- 川口孫治郎. 1934. 大白鳥の渡り, 野鳥, 1-6, 505. (隠岐海士郡, 筑前早良郡今津港, 筑後柳川, 肥前大託間(以上採集例), 薩摩荒崎(観察), 陸奥中津川郡岩木川, 羽後米代川支流水, 大阿仁川(観察)の記あり).
- 川口孫治郎. 1934. オオハクチョウの出現, 野鳥, 1-7, 665-669. (樺太に於ける状況, 厚岸湾の出現, 陸奥小湊, 同中津軽郡西目尾相, 羽後北秋田郡大阿仁川流域, 八郎瀧付近, 佐渡加茂湖, 琵琶湖の板前今津, 有明港口, 荒崎に就て出現の状態を報告し, 追記は琵琶湖, 石見鹿玉郡畑ヶ亀村(捕獲所)).
- 川口孫治郎. 1934. オオハクチョウの出現(追補), 野鳥, 1-8, 770. (樺太に於ける状況, 厚岸港の出現, 陸奥小湊, 同中津軽郡西目尾相, 羽後北秋田郡大阿仁川流域, 八郎瀧付近, 佐渡加茂湖, 琵琶湖の筑前今津, 有明港口, 荒崎に就いて出現の状態を報告し, 追記は琵琶湖, 石見鹿玉郡畑ヶ亀村(捕獲所)).
- 川村双実二. 1934. 琵琶湖に棲息する鳥類調査, 鳥獣彙報, 1-10, 626-627. (オオハクチョウ, マガン...).
- 黒田 長礼. 1934. 鳥, 8-38, 254-257.
- 黒田 長礼. 1934. 鳥, 8-39, 374-378.
- 森 為二. 1934. 朝鮮の天然記念物に就いて, 朝鮮, 234, 11-12. (狭川白鳥渡来地昌章白鳥渡来地共にオオハクチョウにして, 12月上旬より3月まで滞留す, 分布, 記載, 食性あり).
- 森 為二. 1934. 満州国の動物, 満州講座, 3, 841. (満州産は白鳥3種, 雁8種).
- 和田 千蔵. 1934. 津軽海峡を通過する渡り鳥の移行運動, 野鳥, 1-6, 538-539. (オオハクチョウ)

昭和18年以降昭和44年2月現在白鳥に関する記載誌

- 犬飼 哲夫. 1943. 北の風土と動物, 北方文化出版社, 182-189. (白鳥の渡り, 渡来時期, 渡来地, 白鳥の捕獲, 食性調査について).
- 黒田 長久. 1948. 九州鳥信, 野鳥, 13-5.
- 黒田 長礼. 1949. 雁鴨類の研究, 野鳥, 14-2, 33-40. (北海道・本州の主要渡来地, 鵞雁鴨について渡りの経路).
- 黒田 長礼. 1949. 雁鴨異変, 野鳥, 14-2. (戦前からの渡来地に雁はおるか鴨もほとんど姿を見せぬこと).
- 中西 悟堂. 1950. 千葉県新浜に3羽の大白鳥, 野鳥, 15-1, 17. (1949.11.21 ぎ猟場上空で目撃す).
- 新田 加造. 1952. 新潟県瓢湖の大白鳥, 野鳥, 17-2, 2. (1952年は去る2月7日2羽, 2月14日13羽渡来し滞在した).
- 市川 昌徳. 1952. 白鳥, 菱喰談議, 野鳥, 17-5, 189.
- 清棲 幸保. 1952. 日本鳥類大図鑑, 講談社Ⅱ, (3)531-534. (主に小湊の写真及渡来状況を中心に(グラビア), 本文オオハクチョウ, ハクチョウ各々につき, 記載, 棲息現況, 一般習性, 啼声, 繁殖, 食性, 渡り, 分布, 国外分布, 近似亜種について記載あり).
- 羽田 健三. 1954. 信州にて手取りにされた大白鳥, 野鳥, 19-1, 59. (25年(1950.1.17)に長野県青木湖27羽渡来, 3羽捕われる, 別に1羽保護され大町駅前の鳥禽舎で飼育されている).
- 下山善太郎. 1954. 野鳥, 19-3, 57. (1953.2.22富山県泊町周辺で一羽捕獲される(幼鳥)).
- 村上 孟. 1954. 瓢湖の白鳥について, 野鳥, 19-4, 166.
- 湯浅大太郎. 1955. 郡山だより, 野鳥, 20-4, 324. (郡山市開成山五十鈴湖にオオハクチョウ3羽渡来す, はじめて).
- 山際 虎二. 1955. 新潟県水原町瓢湖の大白鳥—その渡来初期の実相, 鳥, 14-66, (1)14-23.
- 下村 兼史. 1955. 荒崎の鳥, 鳥, 14-66, 34-35. (オオハクチョウ以前は少数乍ら渡来していたが, 20年程前の耕地整備以降渡来せず, オオハクチョウ(かつて5羽渡来)).
- 清棲 幸保. 1955. 野鳥撮影紀行, 青森県小湊でのオオハクチョウの撮影の様子があり, 鳥, 14-66, 49-50.
- 安部 幸夫. 1955. 福岡県内に於ける珍重すべき野鳥—福岡県文化財調査報告書, 福岡県教育委員会, 18-(1)29. (オオハクチョウ, 博多湾内1924.11.11(幼鳥)).
- 石沢 健夫. 1956. 新潟県産鳥類に就て, 鳥獣彙報, 18-1, 2・12.
- 三島冬角司. 1956. 伊豆大島冬期の鳥類, 鳥獣彙報, 15-1, 44. (1910年代に大島元村海岸で1羽捕獲された, この類では八丈島について2回目(八丈島のはコブハクチョウと判名)).
- 黒田 長礼. 1956. 雁, 野鳥, 21-2, 108-111.
- 永田 洋平. 1956. 奈落を上る鳥と落ちる鳥, 野鳥, 21-2, 141-145. (北海道東海岸のオオハクチョウに就いて, 順次数を増えて来ているということ).
- 木村 新一. 1956. 水原瓢湖渡来の白鳥, 野鳥, 21-2, 151-153.
- 成沢多美也. 1956. 新潟県佐潟の白鳥, 野鳥, 21-3, 194-200.
- 成沢多美也. 1956. 瓢湖射撃米兵より白鳥餌代寄付の件, 野鳥, 21-3, 200.
- 高野 伸二. 1956. 新浜の鳥の近況, 野鳥, 21-3. (30.11-23, 1羽成鳥, 白鳥類27日も見られた).
- 三上 士郎. 1956. 白鳥渡来消息, 野鳥, 21-6, 395. (31, 11-5(十三湖50, 小湊30, 大湊0)11-19(十三湖20, 小湊70, 大湊0)).

- 黒田 長礼. 1939. 雁と鴨. (修教礼書院版, 全種類の分類, 内容, 和名, 学名, 各国名, 古名, 方言, 分布, 測定, 生態, 飼養, 雑種の順, 22種及亜種を13亜科に分類).
- 森 為三. 1939. 朝鮮の天然記念物中鳥類に就て, 野鳥, 6-1, 8. 3. 10. (白鳥渡来地(指定地)は慶尚南道狹川郡龍州面及同道昌寧郡の湖沼であり, オオハクチョウ最も多く, ハクチョウ及コブハクチョウも混ず, 尚この北は厳冬の候南下しての越冬地となるが, 始めは黄海道竜津郡龍湖島及同長潤郡愛金浦附近及び東海岸の感境南道遮湖等に大群をなして渡来す).
- 岡田 宣一. 1939. 樺太の鳥, 野鳥, 6-1, (3F) 75-82. (北知床半島の舟越は白鳥其他水禽の休息地, 西海岸来知志湖は白鳥の繁殖地として注目される, 樺太にて11月残留(下旬)する白鳥, マガモ, アイサを主とし, 南下す, 白鳥は12月下旬まで留まる, 昭和13年(1938)の調査では, 3月下旬結氷融け出すとハクチョウ3月27日36羽, ホオジロガモ50羽, 1938秋の渡りはハクチョウ重庭港にて10月22日(9羽2家族1群), オオハクチョウは11月下旬に北海道へ, ハクチョウは同期に奥羽地方に降る, 以下略).
- 蜷川 英人. 1940. 研究部野外出野記, 野鳥, 7-2, 97-101. (ご猟場(新浜)でサカツラ, マガン混じオオハクチョウ1羽(1939. 11. 26)を見る).
- 江村 重雄. 1940. 新潟県に於ける顯著なる白鳥渡来地, 動雑, 52-2, 70. (赤塚村佐瀨にはオオハクチョウよりもハクチョウの方が多様な様なりとの報告).
- 江村 重雄. 1940. カナダガンとアメリカハクチョウに関する通信(英文), 鳥, 10-49, 654-657.
- 江村 重雄. 1940. ナキハクチョウその他に関する通信(英文), 鳥, 10-50, 113-144.
- 犬飼 哲夫. 1940. 北海道に於ける白鳥の食性, 動雑, 52-2, 67. (主としてオオハクチョウに関するもの).
- 飯尾豊記男. 1940. 鹿児島県に渡来する鵞とその保護, 野鳥, 7-11, 609・611. 603. (本文中に鵞雁の記事あり, オオハクチョウ, 昭和11年2羽, 12年2羽, ガン, 昭和14年7羽).
- 喜多村鍵治. 1940. 大白鳥, 全猟, 5-2, 18. (昨年の猟期ぐらい白鳥の渡来したことは近年稀).
- 黒田 長礼. 1939. (1)雁鴨科の分類, 形態及び雑種, 植物及動物(1), 7-10. (雁鴨科の総論的記事).
- 黒田 長礼. 1940. 植物及動物(2), 7-11.
- 黒田 長礼. 1940. 植物及動物(3), 7-12.
- 黒田 長礼. 1940. 植物及動物(4), 8-1.
- 黒田 長礼. 1940. 4.天然の鵞雁鴨類の棲息地, 5.人工池濠の雁鴨渡来地, 6.天然及人工的変災, 植物及動物(5), 2.
- 黒田 長礼. 1940. 植物及動物(6), 3.
- 岡田 宣一. 1940. 白鳥, 樺太叢書(3), 3, 1-6. (ハクチョウ, オオハクチョウの意味, マガン, マガモに関する記事あり).
- 下村 兼史. 1940. 千葉県新浜御猟場付近の雁と鴨, 野鳥, 7-2, 91-95. (オオハクチョウ(1羽, 1939. 11. 26))

- 佐藤 春雄. 1957. 佐渡加茂湖に大白鳥, 野鳥, 22-1, 54.
- 林 武雄. 1957. 福井県の大白鳥, 野鳥, 22-3, 172-173.
- 三上 士郎. 1957. 青森県の白鳥と畠山正光氏のこと, 野鳥, 22-3, 179-181.
- 三島谷 嗣. 1957. 大白鳥を剖検して, 野鳥, 22-4, 234-237.
- 三上 士郎. 1957. 大湊冬景, 野鳥, 22-2, 95-97. (1957. 1-9 (十三湖 120, 小湊 114, 大湊へは昨日の寒波で60羽くらい渡来, 114羽になった)).
- 黒田 長久. 1957. フランスを襲った異常な寒気と鳥への影響について, 野鳥, 22-5, 260-261.
- 小林 桂助. 1958. 「鳥類生態写真集」北隆館, 62-65. (鳥根県宍道湖の白鳥の写真, 日本国内の渡来地リストあり).
- 小林 桂助. 1958. 日本鳥類目録, 日本鳥学会.
- 永田 洋平. 1958. 「北海道動物記」法政大学出版局, 83-90. (クッチャロ湖, 風蓮湖を中心に白鳥の渡来について).
- 羽田 健三. 1958. 1950-1957年間に長野県下に蒐集した未記録鳥について, 鳥獣彙報, 16-2, 179-180. (オオハクチョウ, ハクチョウの記載あり).
- 三上 士郎. 1959. 十三湖の白鳥, 野鳥, 24-1, 18-19.
- 三上 士郎. 1959. 白鳥, 黒雁, 海猫だより, 野鳥, 24-1, 50-51.
- 三上 士郎. 1959. 白鳥だより, 野鳥, 24-3, 176-177. (白鳥渡去のコースについて).
- 三和 武磨. 1959. 十三湖の白鳥など, 野鳥, 24-4, 218-219.
- 倉成 栄吉. 1960. 白鳥来, 川口孫治郎先生の事, 野鳥, 25-2・3, 211. (1959. 12. 23 ハクチョウ 6羽佐賀県基山町三沢湖に渡来す).
- 三上 士郎. 1960. 青森県大湊, 野鳥, 25-2・3, グラビア. (白鳥に手から餌を与えている処の写真あり).
- 中西 悟堂. 1960. 本冬の白鳥白書, 野鳥, 25-4, 383-399.
- 三上士郎他. 1960. 新潟県瓢湖, 吉川老の死について, 野鳥, 25-4, 373-379. (野性の挑戦者追討).
- 荒尾 稔. 1961. 根室地方に於ける白鳥の越冬状況, 野鳥, 26-2, (1) 114-117.
- 川口 他. 1961. 茨城県牛久沼の大白鳥, 野鳥, 26-2, グラビア.
- 三上 士郎. 1961. 白鳥の十三湖禁猟区に一步前進, 野鳥, 26-3, 155. (県天然記念物指定あり, 又, 禁猟区化へのうごき活発).
- 三上 士郎. 1961. 新潟, 吉川繁男氏より白鳥と白鳥人事往来, 野鳥, 26-3, 164-5.
- 三上 士郎. 1961. 茨城県牛久沼の白鳥, 竜ヶ崎野鳥の会, 野鳥, 26-3, 165.
- 荒尾 稔. 1961. 福島県下に於ける白鳥の渡来, 鳥獣彙報, 18-1, 149-155.
- 大高 成元. 1961. 動物と私, 動物と動物園, 13-5, 149-155.
- 渡辺四郎・大高成元. 1961. 白鳥の湖, 動物と動物園, 13-5, 17.
- 和田 千蔵. 1961. 白鳥の博物誌, 鳥, 16-77, 348-354.
- 山階 芳磨. 1961. 本州における1959-60冬の白鳥の多数渡来, 鳥, 16-77, 371-372.
- 山本 弘. 1961. 岩手県における白鳥渡来記録, 鳥, 16-77, 372-375.
- 大浪文太郎. 1961. 福島県内オオハクチョウの渡来, 鳥, 16-77, 375-377.
- 倉成 栄吉. 1961. 九州の白鳥, 鳥, 16-77, 377-380.
- . 1962. トピックス, 小・大湊航空隊が空から白鳥の調査, (8)根室風蓮湖の白鳥に九州で

- 募金, 野鳥, 27-3, 158.
- . 1963. オオハクチョウの生態, 瓢湖における生態写真, 白鳥の交尾他, 野鳥, 28-1, グラビア
- . 1963. やはりハクチョウだった, 野鳥, 28-1, 38. (石川県邑知瀨にいる白鳥3羽は村本義雄氏の観察により白鳥と判名した, オオハクチョウばかりでハクチョウはめずらしい).
- 吉川 繁男. 1963. 異常寒波と白鳥, 野鳥, 28-2, 132.
- 岡 重高. 1964. 秋川溪谷に大白鳥, 野鳥, 29-1, 21. (38年11月29日都下五日市町秋川溪谷に2羽渡来, 1羽射殺され, 1羽は保護し多摩動物園へ).
- 玉谷 勝. 1965. 北海道の白鳥の渡りについて一染進川での観察, 野鳥, 30-2, 101.
- 三上 士郎. 1965. 赤い白鳥, 野鳥, 30-3, 151-153.
- 田中 完一. 1965. 翁倉山のイヌワシと伊豆沼の鳥, 野鳥, 30-6, 372.
- 三上 士郎. 1966. ハクチョウ, オオハクチョウの嘴峰正面像による野外識別, 野鳥, 31-1, 15-29.
- 三上 士郎. 1966. 黒雁と大白鳥盛況, 野鳥, 31-2, 127. (大白鳥の嘴峰追試).
- 三上 士郎. 1966. 大湊の白鳥報告, 野鳥, 31-7, 127. (3月18日残存54(29幼), 2羽特に慣れる, 保護2羽中1羽放つ, 今年死亡鳥7羽).
- 立花 繁信. 1967. 近時見聞した宮城県産鳥類, 鳥, 17-79・80, 73-74.
- 小原 伸. 1967. 宮城県下に於ける白鳥の事故, 野鳥, 32-4, 141-142.
- 永島 エミ. 1967. 長野県野尻湖の白鳥, 野鳥, 32-5, 161. (42. 2. 8(幼6)渡来, オオハクチョウ).
- 永島 エミ. 1967. (茨城支部)茨城県内の白鳥情報, 野鳥, 32-5, 195-196.
- 江村 重雄. 1967. 白鳥の餌, 茶ガラについて, 野鳥, 32-5, 185-186.
- 西野 正義. 1967. 茨城県酒沼の鳥観察記, 野鳥, 32-5, 173.
- 坂根 干. 1967. 昆陽池にオオハクチョウ, 野鳥, 32-6, 211-213.
- 海老原竜夫. 1967. 茨城県牛久沼のオオハクチョウ(写), 43. 3. 10, 野鳥, 32-7, グラビア.
- 田中 完一. 1967. 大津川湾と伊豆沼の探鳥行, 野鳥, 32-7, 245-247. (2月11・12日).
- 阿部 学. 1968. ハクチョウ類に関する2・3の知見並びに尾岱沼におけるオオハクチョウ多数死の実情と対策試案, 鳥, 18-85, 379-391.
- 黒田 長礼. 1968. 日本産ガンカモ科鳥類の渡来地一覧表, 鳥, 18-85, 401-404.
- 三上 士郎. 1968. 3月15日現在, 大湊67羽(幼48)まもなく帰北, 野鳥, 33-5, グラビア.
- 小平 万平. 1968. 瓢湖の白鳥見聞記, 野鳥, 33-7, 244-247.
- 三上 士郎. 1969. 大湊港の盛況, 野鳥, 34-2, 66. 白鳥300羽越す, 黒雁200数十羽, コオリガモ30羽内外, 白鳥の内70羽は渡来と同時に接岸町民の餌についている(1月10日).
- . 1969. 全国鳥だより, 野鳥, 34-1, 37. (i)宗谷支庁クッチャロ湖, 吉岡政保, ハクチョウ類10月3日4羽, 初認(例年より早い), 10月13日約2,000羽, (ii)宮城県新聞, 内沼, 竹丸勝郎, 11月3日, オオハクチョウ3, ハクチョウ,
- 手塚 静雄. 1969. 佐賀県北山ダムの水鳥餌付け, 野鳥, 34-1, 9-14. (昭和42年1月ハクチョウが渡来した)
- 内田清之助. 1949. 新編原色日本鳥類図説, 119.
- 清棲 幸保. 1952. 原色日本鳥類大図鑑(II), 531-534.
- 清棲 幸保. 1959. 原色日本野生鳥類生態図鑑, 108-112.
- 黒田 長礼. 1939. 雁と鴨, 1-7.
- 水野 静. 1934. 満州鳥類分布目録, 133-134.
- 日本鳥学会臨時刊行物. 1917. 鮮満鳥類一斑.